

(資源エネルギーに関する調査会)

原子力等エネルギー・資源に関する調査報告要旨

本調査会は、原子力等エネルギー・資源に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、令和元年十月四日に設置され、三年間の調査テーマを「資源エネルギーの安定供給」とし、このうち、一年目は「エネルギーの安定供給」、二年目は「資源の安定供給等」を調査項目として取り上げ、調査を行ってきた。

最終年に当たる三年目においては、「資源エネルギーの持続可能性」を調査項目として、「資源エネルギー分野のイノベーション」、「資源エネルギーの安定供給実現への提言」及び「ウクライナ侵略の我が国エネルギー環境・政策に与える影響」について、参考人から意見を聴取し質疑を行った。また、この三年間の調査を踏まえ、政府から説明を聴取し質疑を行うとともに、委員間の意見交換を行った後、調査報告書を取りまとめ、令和四年六月三日、議長に提出した。

本報告書においては、これまでの調査の概要をまとめるとともに、資源エネルギーの安定供給の確保とカーボンニュートラルの両立に関し、カーボンニュートラル実現に向けた資源エネルギーの在り方、立地に寄り添った施策を国民理解とともに進めることの重要性、化石燃料の安定供給の確保、鉱物資源の安定供給

の確保、イノベーションの実現、省エネルギーの一層の推進及び人材育成の在り方を柱として掲げる提言を行っている。